



えん  
ちゆう

夏真っ盛り、夏の炎ゆるような風。  
暑さが特に厳しくなる昼時、炎天の下、  
太陽の直射熱がじりじりと。  
昭和の時代、俳句から生まれた比較的  
新しい季語です。

新人農人もベテラン農人も、この  
炎風の暑さがある「夏」が一年の中で  
試練の時。水分補給、体調管理  
をしっかりと行い挑みます。

八月に入る前から、  
台風はいっ訪ねるのが  
という意識が農人たちの  
中で高まっています。  
ねぎを守ることばもちろん、  
お客さま、私たちの生活を  
守る対策を行います！



ねぎの生育も順調ですが、雨をもらった雑草たちもす  
くすくと成長、1ヶ月もするとねぎの背丈より高くなる  
ほど。草刈りも大変ですが、良い環境作りに奮闘！

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

ことねぎだより

### 今月の ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を  
少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

お待ちしました！夏葱の季節、夏葱のお届けです

今月からは丹後地域も加わり、美山・亀岡の3つのそれぞれ  
冷涼な気候風土で育った夏葱をお届けしていきます。5月上  
旬頃に定植を行い、丹後・美山は移植機を使って、亀岡は  
手植えで苗を植えました。例年通り、美山で大事に育てた苗  
を各産地で定植。虫が多い時期や梅雨を越え、農人たちの  
目利きと心配り育った夏葱を自信を持ってお届けします。麺類や冷奴など、夏のお料理  
に添える爽やかな風味で食卓を彩ってくれることでしょう。ご賞味ください！



NO.171  
2021年8月号  
TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

KOTO GROUP  
4A



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

### 今年の天候の傾向が表れながらも良い夏葱に

今年は、例年よりも早い梅雨入りとなり、降水量も例年と比べると多い年になりました。  
そのためか、全体的に徒長気味（細く弱々しく伸びる）になり、弱くなっているねぎが  
病気になるかと、農人たちでこまめに確認。幸い、元気に育ってくれたものも多く、

### 広大な農地で経験値 UP 中！

丹後農場においても、病気には特に注意をしまし  
た。美山や亀岡と異なり、ひとつの圃場が大きい  
ものだと1.8haあるので、病気が広がってしまう  
と全滅の可能性も出てきます。そうならないよう  
に、丹後の農人たちは、いつもより更に注意深く  
ねぎの状態を確認、必要に応じて防除の作業を行  
いました。防除では、ベトナムから来た実習生2名が活躍してくれています。これまで、点在する圃場を防除するには車が必要で、実習  
生に任せることが難しかったのですが、丹後の地域では圃場が隣接しているので、車での移動が必要なくなります。これは、農地が集約  
している最大の利点であり、今後も地域の方のご協力を得て、こういった圃場を増やしていきたいと考えています。もっと多くの実習生  
たちの活躍できる場が広がっていけるようにしたりと、色々な面での生産性向上に繋げていきたいと思ひます。

